

対人関係	非社会的である	自己の身体的面に ついて	疾病	幼稚園教師になつてからの身体的変化(勤務年数二)年未満者)	疲労の原因	身体的	情緒的	社会的	幼児像について
	保育者特有の病氣といふのはないが常に風邪である								

以上本園における職員研修の問題とこれに關して市内幼稚園全教員が問題としている点を述べて来たが、要は職場における人間関係をよくし、互いに和をはかり、尊敬し合い、協力し合い、幼児教育者としての仕事に自信とプライドを持ち、責任を自覚していくことが、幼児に対してはその診断と処方を誤りなく成し得るゆえんとなるのであろう。

ここで私は声を大にして叫びたい。子ども自らがよき人となりいくことの余りにも自明たちをしてよき人へと育ていくためにはまずなるがゆえに素通りしてはならぬと。

家庭との連絡について

岡山市立伊島幼稚園

秋田好枝

私の園の研究・組の研究

幼稚園と家庭との緊密な連絡の大切なこと
 ついて、いまさら述べる必要もないと思ひますが、家庭の方に幼稚園の教育方針をよく理解していただき、園としては、幼児の家庭での生活状態をよく知り、園と家庭と一体になつて、幼児の指導がなされなければ、眞の幼稚園教育の実を、あげることはでき得ないと思ひます。

昭和三十一年度、私の園において、実施いたしました家庭とのつながりについて、述べることいたします。

一、入園前保護者会
 ○入園までのしつけについて
 ○幼稚園教育の目的目標について

二、幼稚園たより
 園での幼児の生活を理解してもらい、家庭での生活を、園の方針と同じ方向に、向けて貰うために、毎月一回発行し、月末に翌月のたよりを持ち帰ります。

二月幼稚園だよりをかかげましょう。

二月 幼稚園 だより

岡山市立伊島幼稚園

単元及び目標	幼稚園の経験	お楽しみ	行事予定	日	弁当日	
<p>寒さに負けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の衛生に気をつけ ・からだを清潔にする ・風邪の予防をする ・風の強い日や寒さのきびしい日は余り長く外で遊ばない ・豆まきをまく ・節分の話をまぐ ・豆まきの歌をうたったり童話をまぐ ・豆まきのリズム遊びをする ・鬼面、福面を作り福や鬼になって豆まきあそびをする ・年の数だけ自分で数えて豆をたべる ・幼稚園や家庭で行なった豆まきの様子を話し合ってから絵にかく 	<ul style="list-style-type: none"> ○冬の衛生に気をつける ○からだを清潔にする ○風邪の予防をする ○風の強い日や寒さのきびしい日は余り長く外で遊ばない ○豆まきをまく ○節分の話をまぐ ○豆まきの歌をうたったり童話をまぐ ○豆まきのリズム遊びをする ○鬼面、福面を作り福や鬼になって豆まきあそびをする ○年の数だけ自分で数えて豆をたべる ○幼稚園や家庭で行なった豆まきの様子を話し合ってから絵にかく 	<p>一、二月一日、二日の二日間小学校学芸会が催されます。午後ありますので早から二月一日のお弁当をやめました。お子さまの経験にもなると思いますのでお連れ下さいませ。なお大勢の中で大きな声をしたり歩きまわったりしないで静かに見るようにご指導下さいませ</p> <p>一、節分の豆まきを幼稚園でして遊びます。節分には豆まきして悪い藪(泣き虫、怒り虫、いじ悪、悪い病気等)を追い出してにこにこした福の面のようにみんな元気なよい子になることを申し込みますご家庭におかれましてはお子さまにお話して下さい</p>	<p>一、お正月以来お子さま方の様子が大変しっかりして来たように思えます。先日米市教育委員会から参りました入学案内をもらってからです学校への関心も高まっているように感じます。入学までにご家庭におかれまして左記事項について注意してご指導下さい</p> <p>◎朝起きるとき</p> <p>なるべく自分でさっと起きられるように、起されてもさっと気持ちよく起きるように</p> <p>◎顔を洗う、歯を磨く、髪をとかず</p> <p>大人が傍からいわずに一人でできるように習慣づけましょう</p> <p>時間がかかっても一人で見守って下さい</p>	<p>一 小学校学芸会 二 豆まき 同 三 節分 四 立春日 五 百日咳予防注射 六 保育料徴集 七 同 八 天満屋見学 九 天満屋見学 十 天満屋見学</p>	<p>一 小学校学芸会 二 豆まき 同 三 節分 四 立春日 五 百日咳予防注射 六 保育料徴集 七 同 八 天満屋見学 九 天満屋見学 十 天満屋見学</p>	<p>な し な し ゆり、もみじ、あやめ、きく ゆり、もみじ、あやめ、きく な し な し ゆり、もみじ、あやめ、きく ゆり、もみじ、あやめ、きく な し な し ゆり、もみじ、あやめ、きく ゆり、もみじ、あやめ、きく な し な し ゆり、もみじ、あやめ、きく ゆり、もみじ、あやめ、きく な し な し ゆり、もみじ、あやめ、きく ゆり、もみじ、あやめ、きく</p>

お店ごっこ
 ・いろいろなものが創
 作できるように導く
 ・店の飾付などを
 ことにより単純な形
 や色彩、その調和等
 がわかるように導く
 ・売買の応待が楽しく
 できるようにしむけ
 る

○お店ごっこをする
 ・天満屋を見学に行き買物をして帰る
 ・見て来た天満屋について話し合いをする
 ・お店ごっこの計画をたてていろいろな品
 物や必要なものを作る
 ・店の飾付けをして品物をならべる
 ・仲よく売手や買手になってあそぶ
 ・お店やさんの歌をうたったり劇遊びをす
 る

○ひなまつりをする
 ・おひなさまを飾って話し合いをする
 ・「おひなまつり」の話をきいたり劇遊び
 をする
 ・いろいろな材料でおひなさまやお供物を
 つくる
 ・おひなさまのうたをうたったりリズム遊
 びをする
 以下略

◎食事
 早すぎたり遅すぎたりするお子さまがお弁当によつ
 て知ることができます。小学校では給食があります
 ので約二〇分位ですむようご指導下さい

◎交際
 自分で登園準備が一人でできるようご指導下さい
 ◎遊んだ後の片づけ
 幼稚園では後片づけが大変よくできております。遊
 んだ後の片づけは自分でさせて下さい
 一、本月の参観日は実際保育後先生との懇談会にした
 いと思っております。委しくご連絡いたします
 一、三月のおひなまつりについて
 過日PTA幹事会におきましておひなまつり行事に
 ついて相談いたしました。本年も昨年度と同じよう
 に巻ずしを作ってお子さまを楽しませてあげよう
 とおっしゃって下さいました。以下略

二七
 二八
 同
 同
 まつ、さくら、うめ

単元及び目標幼児の経験は、教育課程より
 抜粋し、一か月の経験をのせる。おかあさま
 方への欄は、生活指導、連絡事項、園より家
 庭への要望などをのせております。行事予定
 は、月間の予定をなるべくくわしくのせる。
 弁当日は、園舎の狭いため設定し、組名をの
 せる。

三、家庭訪問
 四月十六日より、一週間の予定で実施す。
 入園式後、家庭訪問について話し、幼児のこ

とについて、教師に、充分話して貰うよう
 に、依頼しておく。年間を通じて、病欠、事
 故、問題のある場合は、随時実施する。

四、参観日
 ○予定日毎月二十日前後に予定し、幼稚園だ
 よりにのせる。
 ○連絡日予定日前に、日程および参観の目標
 をプリントとして持ち帰らす。

さて二月の幼稚園だよりに予定いたしました参観日
 を予定通り二月十九日(火)に左記日程の通りに行いたい
 と思っておりますので、ご多忙中とは存じますが、お繰り合せご出
 います。

席下さいませようご案内いたします
 日程

8.30	参観
9.30	レコードの準備 片付け・洗
10.30	レコードの準備
11.53	参観
11.30	遊戯会 T.A.歌
12.00	P.報告 移動に長 導

本月このごろの主題はお店ごっこでございます。過日天
 満屋を見学してまいりましていろいろな商品を作っており
 ます。二十二日にお店をつくり、お金、財布をこしらえて
 売屋さん、買手になって遊ぶ予定です。いろいろなものを
 お子さま方が工夫して作っております。よくご覧下さいま
 せ。なお、お子さま方の自主性についてよく観察して下さい
 ませ。

○参観Ⅱ参観態度については、四月にお願いしておく。

○懇談Ⅱ約一時間程度

園より指導上のお願ひ、本日の保育について、家庭での悩み、質問、幼稚園に対しての要望等を話し合う。

年間懇談を実施した月。

四月、六月、九月、十二月、一月、二月、

五、保護者の集り

五月参観後PTA総会

六月懇談後歯科医講話

ビニールのハンドバック製作（講師父兄

の一員）

七月参観後絵画について（講師小学校教師）

十月料理講習会幼児のお弁当について（講師

師料理の先生）

十一月幼児教育講演会（講師及川ふみ先生）

十二月幼児の玩具人形製作（講師父兄の一

員）

二月入学について（講師小学校長）

以上が、年間に私の園で、実施いたしましたも

のです。幼稚園だより発行により、家庭の方々に、幼児の園での生活が、理解できたと、喜ばれ、幼児自身にも、行事などが、知らされるために、幼稚園生活に、楽しみを持たすことが、できたと思ひました。家庭訪問の四月実施は、入園直後のため、幼児全体を把握することはできなかったが、不安定な状態にあるときでありましたから、教師と幼児の間に、親近間がもたれ、保育上、五月実施より、効果があつたと思ひました。参観日には

つとめて園の生活のあらゆる面を、見ていただくように計画をたてておこないました。懇談には、教師より、その月の生活指導などを話し、お願ひをいたしております。家庭よりは、家庭でのしつけ、文字、数、絵画などの指導の質問、幼児の生活指導の要望、幼稚園に対して歌の正しい歌ひ方を父兄にも指導してほしいなどの要望が出ました。これらは、保育の面に、保護者の集りなどに、父兄の声を反映させるようにつとめました。当初は発言も少ないようでしたが、相互に親しみもで

き、失敗談、成功談なども出て、有意義であつたように思ひました。参観日を楽しみを持って来ていただくようになりました。

保護者の集りは、参観後、あるいは午後、実施いたしました。私は集りの前後に、機会を作り、幼児の生活について、話すようにいたしました。また、製作の会は、父兄相互の親睦ができ、なごやかな雰囲気をかますことができたと思っております。

以上まとまりのないことを述べましたが、これらにより、幼稚園教育の理解、幼児の成長の状態、幼児教育の重大性を知つていただくことができたのではないかと思っております。年間、父兄の方々が、園に対して、非常に協力して下さつたことは、私の大きな喜びでございます。

今一つ、参観日などに出席できない家庭に對して、いかにするかということが私に残りました課題でございます。出席できない家庭は、両親ともにお勤めとか、お子さまのあつたためとか、病人があるとかの場合でございます。

ますが、楽なときに参観していただくように申しておりますが、思うようにいかない場合がおおございます。日曜日の参観日を持つと

か、在宅時にたびたび訪問するとか、研究していきたく思っております。

私たちのあゆみ

……ともに生みだす遊戯会……

神戸市立楠幼稚園

中谷久子

……私の園の研究・組の研究……

宵やみにジングルベルの曲が流れて、たのしいクリスマスがそこまできているとき、あるいは桃の蕾がふくらんでもうすぐ春だというとき、私たちの心は灰色のペールに包まれ職員室には重苦しい空気が流れはじめます。それは——最良のセンスを盛り、最大の効果をあげる、最善の遊戯会を持ったために希って、みんながありつたけの智慧をしばって遊戯会の構想をねり、当日までの準備にいろいろと頭を悩ますからであります。

過去数年米、幼稚園にとって、最大の行事と思われる遊戯会を、最も望ましい姿に、日常保育の発表であるという形式を打ちだすために、私たちが日々悩んでまいりましたことをお話し申しあげていろいろご指導をいただきたいと思います。まずはじめに、

① 楽しい遊戯会でありたい

……事前指導を十分にすること……

子どもたちはおかあさんに遊戯会を見てもらうのを指折り数えて待っています。しかし

母親は自分の子どもの役割のみに神経がとがるようです。そこで私たちはこの遊戯会のチャンスを利用して、子どもの本当の姿、遊戯会の正しいあり方をよく理解してもらうために平素の指導はもちろん、プリントを配布して事前指導をよくし、子どもたちも、保護者も、先生も、ともに楽しい気持で遊戯会ができるように努力しています。

② あそびから出発したものでありたい

……無理があつてはいけないこと……

遊戯会だといって保育者があせれば子どもにひずみが行くのはあたりまえ、無理のないありのままの姿、それは日常のあそびをおいて他にないと思います。私たちは遊戯会だからといって特別なものを詰めこむのではなくあそびの一展開として考えていきたいとねがっています。たとえば保育室での「角力ごっこ」が発展して「楠幼稚園春場所」に、「歌ごっこ」を「声くらべ」というように、どこまでもあそびからの自然発生的なものを取らあげております。